

令和7年度版

『会津若松市の環境』

～第3期環境基本計画 令和6年度実績報告～

概要版

環境大賞表彰



環境月間



環境とともに生きる“ひと”と“まち”
みんなで未来につなぐ 会津若松



環境フェスタ

出前講座「川の探検隊」



ゼロカーボンシティ
あいづわかまつ

会津若松市

はじめに

本市では、環境に良い取組の「道しるべ」となる「会津若松市第3期環境基本計画」を令和6年3月に策定し、各種環境施策を推進しています。

『会津若松市の環境』概要版は、令和6年度の本市の環境の現状と環境基本計画に基づく環境施策の実績についてまとめたものです。

市民の皆様には、環境に対する関心を高め、理解を深めていただくとともに、自然と歴史に彩られた本市の豊かな環境を将来に引き継いでいくため、市民・事業者の皆様と市役所が連携し、具体的な行動をするための「かけ橋」として活用していただければ幸いです。

I 第3期環境基本計画について

1 概要

「会津若松市第3期環境基本計画」（計画期間：令和6年度から令和12年度の7年間）は、環境基本条例第3条の基本理念に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に推し進めるため、令和6年3月に策定したもので、本市のまちづくりの指針である第7次総合計画を環境面から実現する、環境行政の最上位の計画です。

基本目標1 脱炭素で環境・経済・社会が調和した“まち”をつくる

- 取組1-1 省エネルギー・電化を推進します。
- 取組1-2 再生可能エネルギーの地産地消を推進します（新エネルギービジョン）
- 取組1-3 3R+Renewableを推進します（バイオマス活用推進計画）
- 取組1-4 温室効果ガス吸収源対策等を推進します
- 取組1-5 気候変動への適応を推進します（気候変動適応計画）

基本目標2 緑豊かな自然を保全し、多様な生物が共生できる“まち”をつくる

- 取組2-1 生物多様性を保全します
- 取組2-2 多様な生物が共生できる自然環境を保全します
- 取組2-3 猪苗代湖の水環境を保全します（猪苗代湖水環境保全推進計画）

基本目標3 きれいな環境を守り、安全・安心に暮らせる“まち”をつくる

- 取組3-1 空気・水・土を保全し、きれいな環境を守ります
- 取組3-2 ごみによる環境の悪化を防ぎ、良好な生活環境を守ります

基本目標4 環境に関わる“ひと”を育て、協働する“まち”をつくる

- 取組4-1 環境を守るひとを育てます
- 取組4-2 協働による環境の保全・創造を推進します

2 「持続可能な開発目標（SDGs）」との関連について

SDGsは、持続可能でよりよい世界を実現するための国際目標であり、SDGsの達成に向けて、世界各国や自治体、団体等様々な主体が取組を進めています。本市では、「会津若松市第3期環境基本計画」に基づき気候変動への対策や資源循環、生物多様性の保全等の取組を推進することによって、SDGsの達成に貢献していきます。

【「第3期環境基本計画」に関連するSDGsロゴマーク】



3 令和6年度 環境目標進捗状況一覧

	取組	環境目標			目標値と実績値				R9に向けた 目標達成率
					現状値(R4)	R6実績値	中間目標値(R9)	目標値(R12)	
基本目標 1	1-1	一次エネルギー需要量			11,706.3TJ (R元)	11,428.4TJ (R3)	8,578.1TJ	7,745.4TJ	75.1%
		省エネに関するイベ ントの参加人数			117人	116人	2,200人	5,000人	5.3%
		長期優良認定住宅数（累計）			1, 257件	1, 462件	2,300件	2,900件	63.6%
		電気自動車・プラグインハイブリッド車台数			459台	550台	2,500台	5,800台	22.0%
		燃料電池自動車台数			3台	4台	16台	37台	25.0%
		充電器設置数（一般家庭除く）			45口	55口	189口	275口	29.1%
	1-2	再生可能エネルギー の供給目標値			7,387.3TJ (R元)	7,481.8TJ	8,414.8TJ	8,472.1TJ	88.9%
		使用電力のうち地産地消エネルギー（地域産再生可能 エネルギーの使用）の割合			1.6%	0.6% (R5)	7.9%	11.6%	7.6%
		ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワークのパート ナー団体数			0団体	0団体	100団体	270団体	0%
	1-3	1人1日あたりのごみ排出量			1,229g	1,149g	970g	970g	84.4%
		1日あたりの燃やせるごみ排出量			104.2t	93.6t	82.1t	82.1t	87.7%
		ごみの総リサイクル量			11,469t	10,807t	13,000t以上	13,000t以上	83.1%
		バイオマスの活用目標	生ごみ利用率	21%	18%	50%	63%	36.0%	
			下水汚泥利用率	66%	71%	75%	85%	94.7%	
			廃食用油利用率	39%	0.5%	60%	63%	0.8%	
			間伐材利用率	24%	38%	33%	50%	115.2%	
		食べ残しゼロ協力店・事業所数			61件	69件	150件	200件	46.0%
		市内事業者のうつくしまエコリサイクル製品認定数（ 累計）			0件	0件	4件	7件	0%
	1-4	森林施業面積			2,126ha	2,154ha	2,417ha	2,417ha	89.1%
		公共交通機関の利用			1,128,567人	1,251,834人	1,780,000人	1,780,000人	70.3%
基本目標 2	2-1	野生生物保全事業への参加人数			70人	230人	70人	100人	328.6%
		「生き物マップ」登録件数			0件	10件	400件	700件	2.5%
		市街地における鳥害の発生件数			15件	18件	5件	3件	27.8%
		環境保全型農業直接支払事業の取組面積			9,829a	9,477a	10,724a	13,493a	88.4%
		自然環境や動植物の保護を行う市民の割合			10.5% (H30)	—	60%	60%	—
	2-2	緑化・自然交流事業への参加人数			3,025人	3,334人	8,020人	8,020人	41.6%
		森林施業面積			2,126ha	2,154ha	2,417ha	2,417ha	89.1%
		多面的機能支払事業の対象農用地面積			4,481ha	4,284ha	5,000ha	5,000ha	85.7%
		全農地における遊休農地の割合			0.45%	0.57%	0.42%	0.42%	73.7%
	2-3	猪苗代湖及び流入河川の水質	中田浜	COD	1.3mg/ℓ	1.4mg/ℓ	0.7mg/ℓ	0.7mg/ℓ	50.0%
				全窒素	0.22mg/ℓ	0.16mg/ℓ	0.2mg/ℓ	0.2mg/ℓ	125.0%
				全リン	0.005mg/ℓ	0.006mg/ℓ	0.01mg/ℓ	0.01mg/ℓ	166.7%
			赤井川	BOD	1.1mg/ℓ	1.6mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ	68.8%
				全窒素	1.17mg/ℓ	1.52mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.1mg/ℓ	72.4%
				全リン	0.121mg/ℓ	0.138mg/ℓ	0.08mg/ℓ	0.08mg/ℓ	58.0%

	取組	環境目標			目標値と実績値				R9に向けた 目標達成率
					現状値(R4)	R6実績値	中間目標値(R9)	目標値(R12)	
基本目標2	2-3	猪苗代湖及び流入河川の水質	原川	BOD	0.5mg/ℓ	0.9mg/ℓ	0.5mg/ℓ	0.5mg/ℓ	55.6%
				全窒素	0.45mg/ℓ	0.58mg/ℓ	0.4mg/ℓ	0.4mg/ℓ	69.0%
				全リン	0.024mg/ℓ	0.054mg/ℓ	0.02mg/ℓ	0.02mg/ℓ	37.0%
		農業集落施設水洗化率	赤井		98.8%	99.4%	99.6%	99.9%	99.8%
			共和		95.0%	95.6%	94.7%	95.0%	101.0%
		高度処理型浄化槽の普及率(湊地区)			35.9%	27.7%	40.6%	42.4%	68.2%
		猪苗代湖・流域清掃活動参加者数			未実施	383人	530人	500人	72.3%
基本目標3	3-1	河川水質の基準値達成率			100%	100%	100%	100%	100.0%
		污水处理人口普及率			88.4%	80.0%	90.7%	92.8%	88.2%
		水質事故発生件数			33件	6件	15件	10件	250.0%
		地下水における有機塩素化合物非検出率	非飲用		78%	89%	100%	100%	89.0%
			飲用		100%	100%	100%	100%	100.0%
		自動車騒音に係る環境基準の達成率			83%	100%	100%	100%	100.0%
		公害苦情相談件数			33件	35件	15件	10件	42.9%
		放射線の影響に不安を感じる市民の割合			市民:18.3% 児童:42.7% (R4)	—	0%	0%	—
	3-2	清掃事業への参加人数			701人	2,745人	1,500人	1,500人	183.0%
		野焼き相談件数			14件	3件	0件	0件	0%
		農業用使用済プラスチック回収量			88,738kg	81,743kg	75,000kg	70,000kg	91.8%
基本目標4	4-1	環境学習・セミナー等への参加人数			379人	1,259人	1,185人	1,440人	106.2%
		環境関連の出前講座の実施回数			23回	61回	38回	59回	160.5%
	4-2	環境啓発事業参加者数			102人	2,364人	2,000人	5,000人	118.2%
		ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワークのパートナー団体数			0団体	0団体	100団体	270団体	0%
		公園等緑化愛護会数			72団体	68団体	90団体	95団体	75.6%

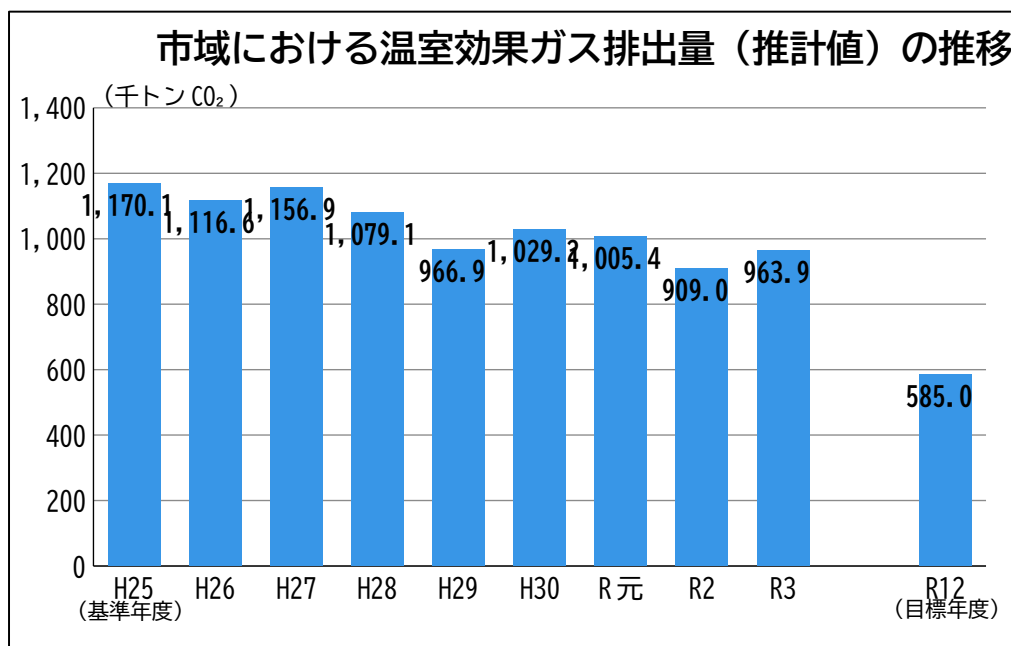
4 市域全体の温室効果ガス排出量(推計値) 状況一覧

(単位:千トンCO₂)

	部門	目標値と実績値				R12までの削減量 (直近値-目標値)
		現状値(R元)	R2実績値	R3実績値 (直近値)	目標値(R12)	
基本目標3	産業部門	205.5	189.9	199.6	159.8	39.8
	民生業務部門	231.3	192.3	211.8	140.0	71.8
	民生家庭部門	202.8	179.8	203.2	79.2	124.0
	運輸部門	202.0	186.9	190.3	117.2	73.1
	その他	163.8	160.1	159.0	123.1	35.9
	森林等による吸収	—	—	▲ 33.2	▲ 34.3	1.1
	計	1,005.4	909.0	930.7	585.0	345.7

Ⅱ 市域における温室効果ガス排出量・再生可能エネルギー供給量等の現況

1 市域における温室効果ガス排出量（推計値）の推移（単位：千トン CO₂）

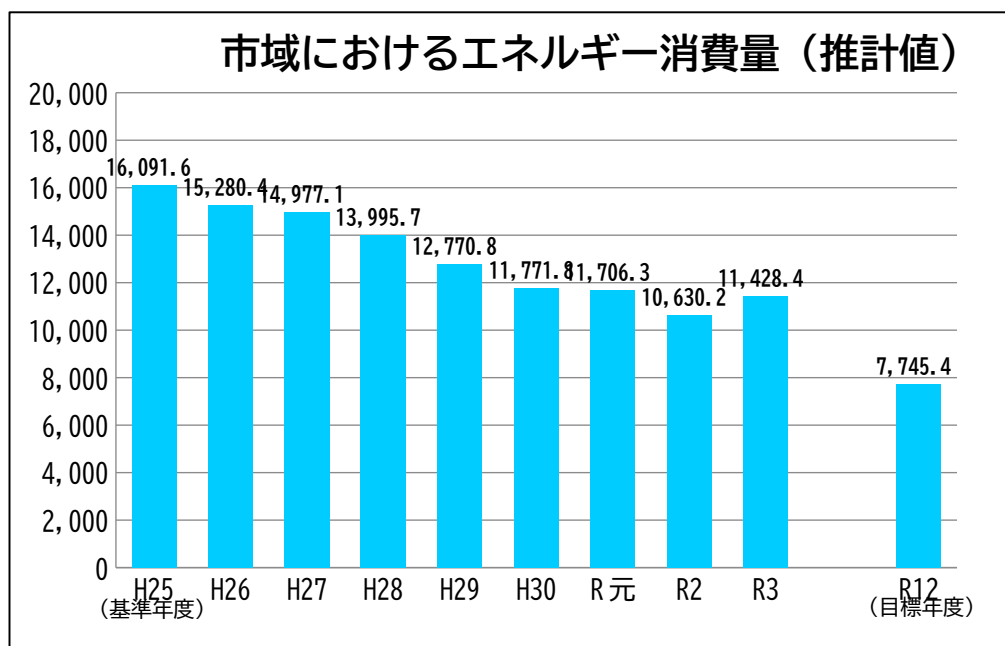


市域における温室効果ガス排出量は近年では減少傾向にあります。これは、電気の排出係数（※）が基本的に減少傾向にあることや、省エネの進展、自動車の燃費の向上等が要因として考えられます。

※排出係数：エネルギー量（電気、ガス、石油など）あたりの二酸化炭素排出量を表した数値。

例えば、ガソリン1リットルあたりの排出係数は、2.32kgCO₂となります。電力の排出係数は、1kWhの発電に伴い発生する二酸化炭素の量を表しています。排出係数は各電力会社（小売電気事業者）により異なるほか、毎年電源構成が変動するため、毎年変動します。

2 市域におけるエネルギー消費量（推計値）の推移（単位：TJ）



Ⅲ 公害・環境の現況

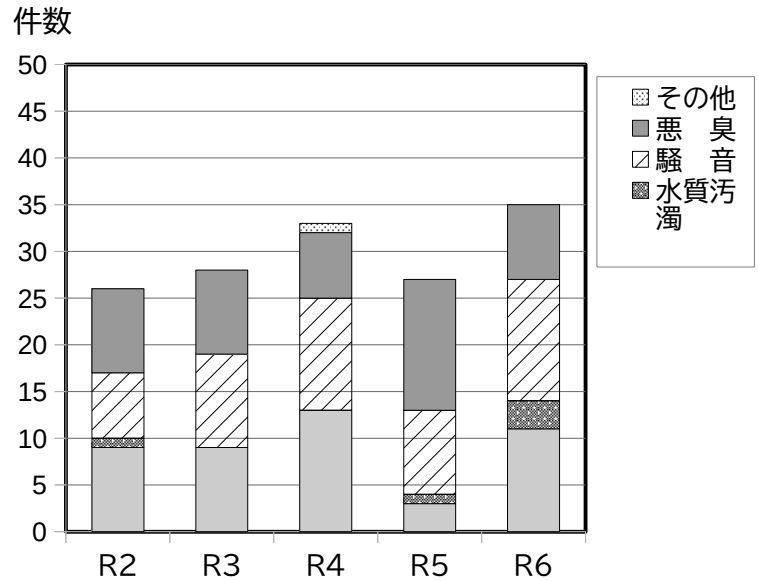
1 環境に関する苦情の概要

令和6年度の苦情件数は35件で、前年度の27件と比べ増加しています。

苦情の内訳では、「騒音」が最も多く、次いで「大気汚染」「悪臭」の順となっています。

近年では、広い地域に影響を及ぼすような大規模な公害は少なくなっていますが、近隣に影響がある小規模な事例が増加しています。

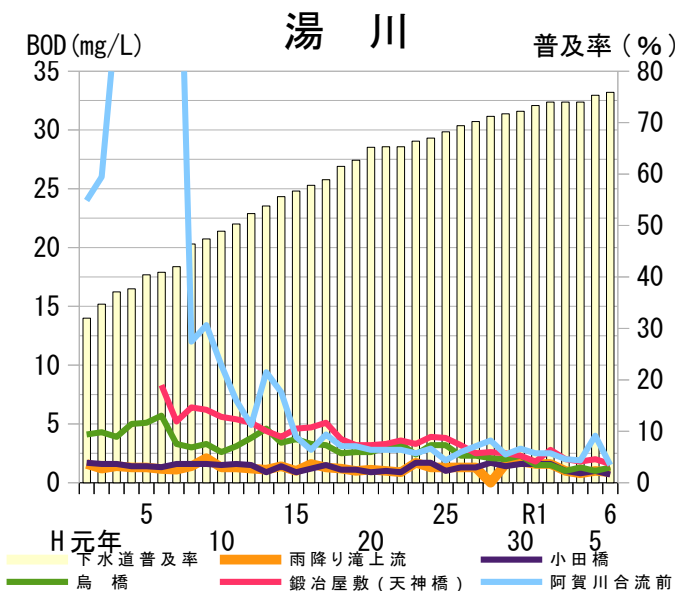
過去5年間の種類別苦情件数の推移



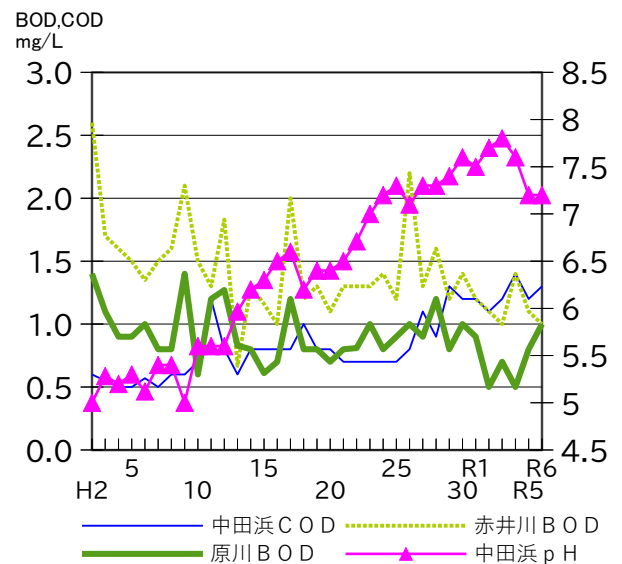
2 公共用水域・猪苗代湖流入河川水質調査結果

本市では、市内を流れる河川の水質状況を把握し、今後の水質保全施策等に資することを目的に、主要4河川（湯川、旧湯川、古川、湊川）と猪苗代湖周辺で水質調査を実施しています。調査は毎月1回行い（調査地点により1、2月は除く）、調査項目は国が定める環境基準に準じて実施しています。

湯川水系BOD値の経年変化（75%水質値）と下水道普及率



猪苗代湖及び流入河川の水質経年変化（年間平均値）



令和6年度の調査結果では、主要河川の湯川・旧湯川では、環境基準を満たし、いずれも水質はおおむね良好でした。ただし湯川の南側から流入する古川・黒川排水路については、下水道の普及が遅れている地区を流れるため生活排水が一部未処理のまま流入し、まだまだ水質が良好とは言えず、このことが湯川の水質を低下させる主な原因と考えられます。

猪苗代湖（中田浜）の水質は、他の河川や湖沼と比べ大変良好な水質であるといえますが、平成になる頃からpHが上昇して中性化しており、CODと総リンも上昇する傾向にあります。

猪苗代湖の流入河川である赤井川と原川の水質は良好で安定していますが、水田の代掻きや田植えの影響と考えられる水質の悪化が一時期発生します。

3 地下水調査結果

昭和 50 年代以降、有機塩素化合物（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン等）による地下水汚染が全国規模で問題化したことから、本市では、昭和 61 年度から地下水の調査を実施してきました。

令和 6 年度は、市内の主に融雪に利用されている井戸 9 ヶ所を対象として令和 7 年 3 月に調査を実施しました。調査項目は、主に電子部品の洗浄やドライクリーニングの洗浄剤として使われている有機塩素化合物であるトリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,2-ジクロロエチレンの 4 物質で、その結果は、下表のとおりです。調査した 9 ヶ所の内、2 ヶ所で 1,2-ジクロロエチレンが検出されましたが、環境基準以下でした。

これらの物質は、現在では排出規制が徹底され、事業場等では地下浸透防止のための措置を講じたり、安全性の高い代替物質への転換が図られており、今後、検出される地点も減少するものと考えられています。

地下水水質調査結果（R 6）

（単位：mg/L）

調査地点の所在地	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,2-ジクロロエチレン
七日町地内	検出せず	検出せず	検出せず	0.005
地下水の水質環境基準	0.01 以下	0.01 以下	1 以下	0.04 以下

※ 有機塩素系化合物…一般的に炭素と塩素が直接結合した有機化合物のことをいい、水に溶けにくく、油に溶けやすい性質がある。金属・機械部品などの洗浄剤やドライクリーニング用の洗浄剤として使用されている。

4 騒音調査結果

市では、騒音に係る環境基準の達成状況を把握するため、幹線道路等に面していない地点で用途地域ごとに調査を実施しています。

令和 6 年度の調査においては、すべての地点において環境基準を達成していました。

環境騒音調査結果（R 6）

調査地点	用途地域	地域の 類型	調査日	環境基準（d B）		測定値（d B）	
				昼間	夜間	昼間	夜間
堤 町	第 1 種中高層住専	A	12/2～3	55 以下	45 以下	46.5	34.2
真宮新町南	第 1 種中高層住専	A	11/28～29			44.5	36.7
河東町広田	第 1 種中高層住専	A	11/28～29			50.0	40.5
古川町	第 1 種住居地域	B	12/2～3	60 以下	50 以下	44.5	39.2
門田町飯寺	工業地域	C	12/2～3			42.7	33.3

昼間はもちろん、夜間は特に音の出し方に気をつけよう。



自動車交通騒音調査結果（R6）

調査地点	道路名	車線数	用途地域	地域の類型	調査日	環境基準（要請限度）		測定値（dB）	
						昼間	夜間	昼間	夜間
一箕町亀賀郷之原	国道49号	4	準工業地域	C	12/12～13	70以下 (75)	65以下 (70)	69.8	62.9
一箕町亀賀村前	国道118号	4	工業地域	C	12/12～13			65.7	57.7
館馬町	国道401号	4	準住居地域	B	12/9～10			55.7	46.0
花春町	主要地方道 会津若松・裏磐梯	4	近隣商業地域	C	12/12～13			61.8	51.8
河東町南高野	主要地方道 会津坂下・河東	2	第1種中高層住居専用地域	A	12/9～10			63.6	60.2
河東町郡山休ミ石	主要地方道 北山・会津若松	2	第1種住居地域	B	12/9～10			57.1	45.7

高速自動車道（磐越道）騒音調査結果（R6）

調査地点	用途地域	路肩からの距離	評価基準（dB）		測定結果（dB）									
					R2		R3		R4		R5		R6	
			昼間	夜間	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜
インター西地内（定点）	準工業地域	25 m	65	60	52	40	52	49	52	48	53	40	52	47
		50 m			53	39	54	50	53	50	53	41	53	48
		100 m			52	41	55	51	55	51	53	40	54	50

※評価基準とは、福島県高速交通公害対策連絡会議が独自に用途区域に応じて環境基準値からあてはめた数値です。

5 悪臭調査結果

本市の悪臭防止対策は、「悪臭防止法」、「福島県悪臭防止対策指針」、「会津若松市生活環境の保全等に関する条例」に基づいて行われています。市内の悪臭状況を把握するため、昭和58年以降、悪臭苦情の寄せられた事業所を対象に悪臭調査を実施しています。

過去に苦情があった2事業所について、令和6年度悪臭調査を実施したところ、両事業所とも「福島県悪臭防止対策指針」の準拠すべき臭気指数の基準を超過しませんでした。

悪臭調査結果（R6）

○：基準超過なし ×：基準値超過あり －：調査未実施

調査事業所		神指町 A事業所	湊町 B事業所	門田町 C事業所	神指町 D事業所
令和6年度	臭気指数	－	○	－	○



会津若松市 環境PR大使
いいもりん

Think globally, Act locally
地球規模で考え、足元から行動を！

令和7年度版 『会津若松市の環境』 概要版

令和8年1月

発行 会津若松市
編集 会津若松市 市民部 環境共生課（追手町第二庁舎内）
〒965-0873 会津若松市追手町2番41号
電話 0242(39)1111（代表）
0242(23)4700（直通）

会津若松市ホームページアドレス <https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>
会津若松市環境共生課メールアドレス kankyo@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp